

地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (5) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (6) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 15HP8021 の交付を受けて作成しています。

秘

第五十四回技術會議

第十部第十八回會議々事要旨

一、審議事項 製鐵所標準規格に關する件

二、開 催 昭和七年一月廿五日

三、出席者 別紙記載

四、議 事

(1) 技監 商工省に於て目下各種工業品の標準規格を制定中なるが製鐵所にてはその範圍内に於て更に本所に一層實際に適切なる「製鐵所標準規格」を設け所内使用の物品を整理統一したし。

(2) 技術課長 所内使用の機械工作器具の一部に就きては既に従前規定せられしものあれども米突法の實施及び日本標準規格の制定等により訂正を要するもの多く且實際的に適用し難きもの少からず。提出の青圖は岡田技手の努力による案の一部にして主として各部より工作部に注文せらるゝ物品に就き日本標準規格に則して作成せられたるものな

り（青圖に示せる釘、螺錐に就き説明）、この型式に準じて所内に使用する物品全部につき規格制定及び適用の可否并にこれら編纂の方法につき審議せられたし、本規格制定の上は物品の製作註文に圖面の添付を要せず外部への註文手續も至つて簡單化せらるべし。

（イ）條鋼々板部長 螺錐を數種に限定したる結果軌條孔の寸法等外部より

の註文に應じ難き事起るべし、尚類別中鋼材とあるはその意味如何。

（ニ）鋸齒部長 鋼材に就きては當所製品目録によれば充分ならずや。

（ハ）技術課長 外部よりの註文に就きてはこの標準外とす、従つてこの場合螺錐の種類を増加するも止むを得ず、次に鋼材とは所内建設用に使用する形物、棒鋼等を意味し本所内のみにて更に小なる範圍の標準化を行へば需給關係が今より一層圓滑となるべしと信ず。

（ヘ）條鋼々板部長 ボールベアリングは電動機用に限らず所内全般に使用せるものを總括しては如何、砥石の如きも統一の必要あるべし。

（ト）電氣課長 電動機に對するものは既に標準化され居る故に之が實行

を急ぐ主旨にて取敢へずこれに就き制定せり。

(イ) 化工部長 石炭に就きては既に規格の設けあればこれが勵行を計り
たし、骸炭の如きも規格を設くべきや。

(ロ) 技監 骸炭の如き將來益々進歩改良すべき物及び唯兩者間位にて協
議の出来るものに就ては永久的規格の制定を避けたしと思ふ。

(ハ) 第一副産課長 當課に於ては從來フランヂ其他に關し規格を設け準據
しつゝあるが新規格制定せらるゝとも直にこれが廢止は困難なり。

(ニ) 工作部長 各部に於て既に規格の設けある物は新規格制定の參考と
して技術課に提出せられたく希望、其他も隨時申出られたし。

(ホ) 化工部長 本所鑛滓煉瓦はプレス的關係上赤煉瓦の規格によらず舊
寸法に據れり。

(ヘ) 第一土木課長 當課に於ては工事材料は規格品を採用するに雖製作品は
總て課内の使用に供するものゝみなるが故に外部に對する一般的規格
の制定はその要なかるべしと思はる。

(カ) 製鋼部長 インゴットモールドに就ては如何。

(キ) 技監 インゴットモールドの如く^(給)兩者間にて協議しべきものは規格制定の要なし。

(ク) 化工部長 ブーリー等は速かに着手せられたし。

(ケ) 技監 製鐵所標準規格編纂委員は各部より選出することとし、ブーリー、バイト等比較的容易なるものより至急着手する事としたし。

出席者（十六名）

野田技監

井村技術課長

山縣土木
動力工作部長

小坂計畫課長

瀧田技手

松原第一工作課長

立花電氣課長

足立第一土木課長

志道建築課長

景山條銅
鋼板部長

岡崎大條課長

黒田化工部長

高山第一副産課長

田口抄手（爐材課長代理）

鷗斎銃鋳部長

久保田製鋼部長